



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	14,622	27.5	2,697	87.2	2,750	87.2	1,773	87.2
27年3月期第1四半期	11,468	99.2	1,441	129.6	1,469	118.2	947	181.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,874百万円 (98.3%) 27年3月期第1四半期 945百万円 (141.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	205.45	—
27年3月期第1四半期	109.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	35,008	22,745	59.3
27年3月期	29,572	21,174	65.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 20,767百万円 27年3月期 19,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,920	23.0	3,630	41.1	3,640	37.1	2,430	45.4	281.50
通期	41,700	6.4	4,300	9.6	4,330	6.5	2,820	5.6	326.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	9,311,760株	27年3月期	9,311,760株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	680,790株	27年3月期	680,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	8,631,182株	27年3月期1Q	8,633,212株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の発表日現在において、平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第1四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	11,468	14,622	3,154	27.5
営業利益	1,441	2,697	1,256	87.2
経常利益	1,469	2,750	1,281	87.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	947	1,773	825	87.2

〔経済状況〕

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、政府、日銀による継続した各種政策効果もあり、企業収益の改善や設備投資の増加に加え、雇用や所得環境も改善傾向が続くなど、回復基調で推移いたしました。しかしながら、円安による物価上昇、海外景気の下振れ懸念など、依然景気を下押しするリスクも多く留意すべき状況が続いております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入146億2千2百万円（前年同四半期比27.5%増）、営業利益26億9千7百万円（前年同四半期比87.2%増）、経常利益27億5千万円（前年同四半期比87.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17億7千3百万円（前年同四半期比87.2%増）となり、コンサートグッズや音楽パッケージ販売、印税収入（新譜）などが好調に推移し、増収となり大幅な増益となりました。

<営業収入>

- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ 印税収入（新譜）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	9,547	12,252	2,705	28.3
メディアビジュアル事業	1,158	874	△284	△24.5
コンテンツ事業	734	651	△83	△11.3
プレイスマネジメント事業	28	844	816	—
合計	11,468	14,622	3,154	27.5

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	1,394	2,602	1,208	86.6
メディアビジュアル事業	90	106	16	17.9
コンテンツ事業	217	254	37	17.0
プレイスマネジメント事業	2	16	13	481.8
調整額	△264	△283	△18	—
合計	1,441	2,697	1,256	87.2

【アーティストマネジメント事業】

営業収入122億5千2百万円（前年同四半期比28.3%増）、セグメント利益26億2百万円（前年同四半期比86.6%増）となり、増収、大幅増益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：＜コンサート＞
サザンオールスターズ、ONE OK ROCK、BABYMETALのコンサート
＜舞台・公演＞
熱海五郎一座「プリティウーマンの勝手にボディガード」
- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、福山雅治（アルバムCD）、ONE OK ROCK（ライブDVD）
- ・ 印税収入（新譜）：サザンオールスターズ（アルバムCD）、Perfume（ライブDVD）、
BABYMETAL（ライブDVD）
- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、深津絵里、吉高由里子、大泉洋、佐藤健、三浦春馬など

<営業収入>

- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
（前年同四半期は福山雅治コンサートグッズ、flumpoolアルバムCDなど）
- ・ 印税収入（新譜）が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入8億7千4百万円(前年同四半期比24.5%減)、セグメント利益1億6百万円(前年同四半期比17.9%増)となり、減収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入:「美女と野獣」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入:佐藤健主演映画「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編」劇場配給、DVD販売分配収入
「美女と野獣」劇場配給分配収入など

<営業収入>

- ・ 大型作品の減少
(前年同四半期は「そして父になる」、「カノジョは嘘を愛しすぎてる」などを販売)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

劇場配給分配収入の増加などもあり若干の増益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入6億5千1百万円(前年同四半期比11.3%減)、セグメント利益2億5千4百万円(前年同四半期比17.0%増)となり、減収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の減少により若干の減収となりました。

<セグメント利益>

原盤印税の増加により増益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入8億4千4百万円(前年同四半期に比べ、8億1千6百万円の増収)、セグメント利益1千6百万円(前年同四半期比481.8%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入により増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	増減
総資産 (百万円)	29,572	35,008	5,435
純資産 (百万円)	21,174	22,745	1,571
自己資本比率 (%)	65.0	59.3	△5.7
1株当たり純資産 (円)	2,228.65	2,406.22	177.57

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は350億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億3千5百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は122億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億6千4百万円増加いたしました。主な要因としましては、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は227億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千1百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は59.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間より、Amuse Korea Inc.及びブラッセルズ㈱の2社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、連結子会社でありました㈱エアーズは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,356,438	16,481,956
受取手形及び営業未収入金	4,406,438	5,455,494
商品及び製品	1,075,197	1,391,659
仕掛品	1,202,381	1,331,251
貯蔵品	47,147	66,933
その他	2,133,432	1,889,352
貸倒引当金	△118,190	△119,693
流動資産合計	21,102,845	26,496,954
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,212,329	2,153,852
土地	1,606,621	1,605,886
その他(純額)	983,136	968,588
有形固定資産合計	4,802,087	4,728,327
無形固定資産	210,916	203,139
投資その他の資産		
投資有価証券	1,236,264	1,144,584
その他	2,052,518	2,275,812
貸倒引当金	△3,809	△3,815
投資その他の資産合計	3,284,973	3,416,581
固定資産合計	8,297,977	8,348,048
繰延資産		
開業費	172,034	163,286
繰延資産合計	172,034	163,286
資産合計	29,572,857	35,008,289

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,258,027	9,114,344
未払法人税等	249,561	900,083
役員賞与引当金	31,000	—
返品調整引当金	14,900	4,000
ポイント引当金	489	5,850
その他	1,871,533	1,226,279
流動負債合計	7,425,511	11,250,557
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	915,437	943,204
その他	40,775	52,241
固定負債合計	972,521	1,011,755
負債合計	8,398,033	12,262,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	1,694,950
利益剰余金	16,820,538	18,309,578
自己株式	△929,731	△931,704
株主資本合計	19,173,582	20,660,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,787	40,253
為替換算調整勘定	21,240	67,072
その他の包括利益累計額合計	63,027	107,325
非支配株主持分	1,938,214	1,978,001
純資産合計	21,174,824	22,745,976
負債純資産合計	29,572,857	35,008,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収入	11,468,479	14,622,639
営業原価	9,057,181	10,746,630
営業総利益	2,411,298	3,876,009
返品調整引当金繰入額	7,700	—
返品調整引当金戻入額	—	10,900
差引営業総利益	2,403,598	3,886,909
販売費及び一般管理費	962,544	1,189,306
営業利益	1,441,054	2,697,603
営業外収益		
受取利息	1,982	3,710
受取配当金	4,836	5,814
為替差益	15,278	11,256
受取手数料	3,990	4,612
貸倒引当金戻入額	20,745	—
持分法による投資利益	—	29,872
その他	685	2,061
営業外収益合計	47,520	57,327
営業外費用		
持分法による投資損失	19,044	—
固定資産除却損	135	364
事業組合投資損失	—	3,961
その他	78	147
営業外費用合計	19,258	4,473
経常利益	1,469,315	2,750,457
税金等調整前四半期純利益	1,469,315	2,750,457
法人税、住民税及び事業税	493,922	896,734
法人税等調整額	19,288	23,381
法人税等合計	513,210	920,116
四半期純利益	956,104	1,830,341
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,584	57,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	947,520	1,773,291

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	956,104	1,830,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	255	△1,534
為替換算調整勘定	△11,212	45,832
その他の包括利益合計	△10,957	44,297
四半期包括利益	945,147	1,874,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	936,563	1,817,589
非支配株主に係る四半期包括利益	8,584	57,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	9,547,189	1,158,068	734,589	28,630	11,468,479	—	11,468,479
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	34,459	80,462	28,624	13,538	157,084	△157,084	—
計	9,581,648	1,238,531	763,214	42,169	11,625,563	△157,084	11,468,479
セグメント利益	1,394,660	90,744	217,575	2,843	1,705,823	△264,769	1,441,054

(注) 1. セグメント利益の調整額△264,769千円には、セグメント間取引消去3,145千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△267,915千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	12,252,483	874,018	651,493	844,644	14,622,639	—	14,622,939
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	17,412	80,097	59,984	12,628	170,122	△170,122	—
計	12,269,896	954,115	711,477	857,272	14,792,761	△170,122	14,622,639
セグメント利益	2,602,989	106,952	254,622	16,542	2,981,107	△283,504	2,697,603

(注) 1. セグメント利益の調整額△283,504千円には、セグメント間取引消去437千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△283,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。